

結 果 報 告

大会名	リオデジャネイロオリンピックハンドボール競技 女子アジア予選 愛知・名古屋大会			
競技日	10 月 25 日 (日)	試合	第 1 試合	
種 別	女子	会 場	愛知県体育館	
Aチーム		Bチーム		
ウズベキスタン		中国		
得点合計	小 計		小 計	得点合計
21	6	前半	21	37
	15	後半	16	

【 戦 評 】

記載者氏名

水野 遼

リオデジャネイロオリンピックアジア予選の最終日。今大会、なんとか一勝をあげたいウズベキスタンと最終戦を勝利で終わりたい中国の試合。ウズベキスタンは、NO.11のミドルシュートの得点でゲームを有利に進めたいのに対し、中国がどのようにして守り、得点を重ねるかが注目である。

ウズベキスタンのスローオフで試合開始。先制点は中国。ウズベキスタンNO.11の高さのある攻撃をよく守り、速攻につなげた。その後も、ウズベキスタンのミスから中国は確実に得点を重ね、5連続得点で試合を有利に進めた。一方のウズベキスタンは、NO.15のキレのあるミドルシュートで初得点をあげた。リズムよくボールを回してシュートを伺うが、中国の高さあるDFを崩せず、逆に中国にボールを運ばれ、点差を広げられてしまった。ウズベキスタンNO.15の3点目のミドルシュートで点差を縮めようとするも、中国の速攻を止められず、6-21で前半を終了した。

後半開始、ウズベキスタンはNO.9のポストプレーでの連続得点やNO.6のカットインで得点をあげれば、中国は得意の速攻やミドルシュートなどで得点を返し、一進一退の攻防を繰り返す。中国は、ミドルシュートで試合を進めるのに対し、ウズベキスタンは、NO.6のリズム良いフェイントが起点となり、周りの選手の動きにも影響して全体的にバランスのよい攻撃を展開し、得点をあげていった。最後までお互い気持ちが入ったプレーで、37-21で中国が勝利した。